

## 令和5年度 学校経営計画（抜粋）

新宿区立落合中学校  
校長 伊藤裕一

### ○学習指導要領（2021年中学校完全実施）

- POINT 1 社会に開かれた教育課程　社会との連携・協働による学校教育の実現  
2 育成を目指す資質・能力の明確化　知識技能・思考力判断力表現力等・学びに向かう力  
3 カリキュラム・マネジメント　教科等横断的・P D C A・社会資源の活用  
4 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善

### ○文部科学省・生徒指導提要の改訂（12年ぶり）

誰もが安心していられる学校 「させる」から『支える』指導へ

### ○東京都教育委員会教育目標

- 新宿区教育委員会教育目標  
・広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人  
・地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人  
・個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人

### ○新宿区教育ビジョン (H30年2月公示)

- [柱1] 子ども一人ひとりの「生きる力」をはぐくむ質の高い学校教育の実現  
[柱2] 新宿のまちに学び、家庭や地域とともにすすめる教育の実現  
[柱3] 時代の変化に対応した、子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現

### ○新宿区〔令和5年度の重点〕※\_\_\_\_\_は令和4年度からの追加・変更

- [柱1] ■確かな学力向上 ①新宿区学力定着度調査の分析と活用及び個に応じた指導の充実  
⇒ 学力向上のための重点プランの活用・デジタルドリルの活用  
②新宿区版G I G Aスクール構想実現に向けた授業改善  
③教材の蓄積、共有の推進  
④主体的・対話的で深い学びの実現  
⑤理科教育の充実  
■豊かな心と健やかな体づくり ①障害者理解教育の推進  
②スポーツへの関心と体力の向上  
■就学前から中学校までのつながりのある教育の推進 ①「小中連携の日」の充実  
②連携教育の充実  
[柱2] ■地域との連携・協働による教育の推進 ○地域協働学校の充実  
■子どもの安全の推進 ○情報モラル教育の推進  
[柱3] ■一人ひとりの子どもが豊かに学べる教育環境の整備  
①学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応等の充実  
②不登校未然防止の取組の充実  
③S CおよびS S Wとの連携  
④ネグレクトやヤングケアラー等への対応  
⑤まなびの教室の運営と組織的な支援体制の充実  
■学校の教育力の強化 ○教員の働き方の意識改革等



### 1 新宿区立落合中学校 教育目標（平成29年度制定）

時代の変化に対応できる調和と統一のとれた人格の完成をめざし、集団生活を通して心身の健康を図り、友情を培い、生きる力をはぐくみ、地域と共に学び、社会に貢献できる人を育成する。

- 自ら学ぶ ○思いやる ○やり通す

## 2 グランドデザイン

学校・教員としての不变の視点	令和5年度における4つの視点
[生徒] ○「徳・知・体」のバランスのとれた成長 → 自尊感情・自己肯定感 ○目標の達成（理想の実現に向けた努力） → 主体的な自己実現・達成感 ○充実した学校生活 → 自己有用感・社会性の向上	[視点1] 日々の教育活動の充実（維持） ○教育活動の目標の明確化 → 達成するための計画と方策 ○新型コロナ感染症対応と教育活動 → 可能な範囲での最大限の防止対策 教育活動（生徒の成長機会）の確保
[教職員] ○生徒の成長・目標の達成 → 高い職業観に基づく達成感・責任を果たす充実感	[視点2] 学習指導要領の具現化 ○カリキュラムマネジメント → 教科等横断的・地域資源・P D C A
[保護者] ○生徒の成長・目標の達成 → 相互理解・協働・厚い信頼感	[視点3] G I G Aスクール構想 → I C T の有効活用・ドリル教材活用
[地域] ○支援による生徒の成長・地域への貢献 → 協働の喜び・充実感	[視点4] 3年先の落合中の創造 ○地域に信頼される学校（協働の向上） ○組織力の向上【チームワークの形成】



### グランドデザイン

### 『笑顔あふれる落合中学校』を創る

— 生徒の主体的活動による学校生活の充実 —

新型コロナウイルス感染症は、まだ収束とはいえない状況であり、基本的な感染防止対応を継続する必要がありますが、社会的動向は緩和の方向【通常】に向かっています。

学校生活の基盤は「生徒の健康と安全」が最優先であると同時に、生徒が自立的に自ら将来を切り開く力【生きる力】の育成は中学校としての責務です。「学びの場」である中学校として、その両立を図りながら、今年度は一歩進め、「教育活動の維持」から『新しい展開（発展）』の年にしたいと考えています。

上記グランドデザインは、本校に関わる全ての人が、共通・恒久の願い（想い）であると考え、

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○生徒 落合中学校で生活できて良かった | ○保護者 落合中学校に通わせて良かった    |
| ○地域 落合中学校は地域の誇り     | ○教職員 落合中学校に勤務ができるて良かった |

という理念を表現しており、これを達成することは、本校の教育目標の実現につながります。

このグランドデザインを旗印に、『チーム・落合中』として全力を尽くし、生徒の主体的活動による学校生活の充実を図り、学校として『輝く未来』に向けた歩みを進める年にしていきます。

## 3 めざす生徒像・教職員像・学校像

### （1）生徒像

生徒一人一人の輝く未来を実現するための生きる力

徳「豊かな心」・知「確かな学力」・体「健やかな心身」

をバランスよく有する生徒

徳「豊かな心」	知「確かな学力」	体「健やかな心身」
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自他の生命と人権を尊重できる生徒</li> <li>○基本的生活習慣を身に付けた生徒 (あいさつ、言葉遣い、身だしなみ)</li> <li>○善惡の判断ができ、規範意識が高い生徒</li> <li>○他者への思いやりと感謝の気持ちをもてる生徒</li> <li>○地域の一員という意識のある生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能を習得している生徒</li> <li>○思考力・判断力・表現力等を身につけ、その力をを使え表現できる生徒</li> <li>○自分に自信をもち、目標の達成に向け努力できる生徒</li> <li>○主体的に学習に取り組む生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての活動の基盤として、たくましく生きるための心身を有する生徒</li> <li>○自他之心身の健康と安全を考え、それを高めることができる生徒</li> <li>○実践的な社会性の身に付いた生徒</li> </ul>

## (2) 教職員像

- 生徒一人一人を大切にし、生徒の成長に喜びを感じる教職員
- 教育への高い意欲をもち、教員としての基礎基本を身に付け、その向上に努める教員
- 主体的かつ適切な判断ができ、組織の一員として、先を見通した行動ができる教職員
- 学校の教育力向上を図るために「カリキュラム・マネジメント」を実践できる教職員
- 危機管理意識の高い教職員
- 様々な人間関係を大切にし、お互いに高め合える(OJT)教職員
- 服務に厳正な教職員

## (3) 学校像

生徒・保護者・地域から信頼され、地域に誇れる学校

## 4 令和5年度・学校経営計画の指針

### (1) 「豊かな心」の育成

- ①生命尊重、人権尊重の教育の充実を図る。
- ②思いやりの心や社会性の育成を図る。

#### 【目標実現に向けた令和5年度の取組み】

- 柱1 人権に関わる指導・対応 及び いじめ防止の指導の徹底
- 柱2 思いやりの心や感謝の気持ち、社会性を育成する指導の充実
- 柱3 道徳教育の充実
- 柱4 「暴力根絶」「暴力行為ゼロ」の指導の徹底

### (2) 「確かな学力」の育成 ー学習指導要領の具現化とGIGAスクール構想を踏まえてー

#### 【学力の3要素】(学校教育法第30条2項) の実現

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的に学習に取り組む態度

#### 学習指導要領における [育成すべき資質・能力の3つの柱]

- 何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・技能」の習得)
- 理解していること・できることをどう使うか (未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)
- どのように社会・世界とかかわり、より良い人生を送るか

## 【目標実現に向けた令和5年度の取組み】

- 柱1 生徒一人一人の学力の向上
  - 基礎的・基本的な知識・技能の習得
  - 思考力・判断力・表現力等の育成
- 柱2 「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善
- 柱3 学習意欲の向上と学習習慣の確立

### (3) 「健やかな心身」の育成

- ①体力の向上と心の充実 [心と体のバランスの取れた育成]
- ②〔実践的な行動のできる〕社会性の育成を図る。

## 【目標実現に向けた令和5年度の取組み】

- 柱1 基礎体力の向上と部活動の充実（勝利至上主義ではない）
- 柱2 心と身体のバランスを重視した食育と健康教育の充実
- 柱3 社会性の向上

### (4) 保護者・地域と連携した教育の充実【地域協働学校】

地域の教育力の活用を図るとともに、地域を支える中学生を育成する。

－「地域は教材」「地域は教室」「地域は先生」「地域は家族」「地域は世界への入り口」－

## 【目標実現に向けた令和5年度の取組み 一カリキュラム・マネジメントの実践－】

- 柱1 地域の教育力の活用
- 柱2 「開かれた学校づくり」から「開かれた教育課程」へ

## 5 新型コロナウイルス感染症に係る基本となる考え方【4/1マスク不要・5/8分類引き下げを踏まえて】

- 生徒の安全と健康を最優先とし、基本的な感染防止対策は継続する。
- 社会的状況（コロナ対応緩和の方向）を踏まえ、学校生活（学習活動）及び特別活動・行事等を慎重に進め、通常の教育活動を展開していく。

## 6 令和5年度の教育課程編成におけるポイント（留意点）

### (1) 教育活動の再構築

- 生徒への指導・支援の充実 通知表の所見を3学期末のみとし、各学期の締めくくりと長期休業前の生徒に係る時間を確保  
1・2学期の所見に代え、三者面談の充実を図る。
- 行事の精選と充実（令和6年度を見据え、行事のねらい・評価を再確認する）
- 部活動 部活動ガイドライン及び地域移行を踏まえた運営
- 各種検定 学校全体として取り組む

### (2) 基礎学力の充実

- 日々の授業の充実を最優先として大切にする。
- 朝の時間帯の活用 → 月～水：A I ドリルの活用 木・金：朝読書

### (3) 学校の決まり等の見直し・改善

- 生徒の安全を確保するために 体育着のネームなし  
校章・クラス章着用の廃止
- 生徒の健全な成長を導くために、令和6年度を見据え、再確認・改善を進める。